

令和元年度主催事業「わくわくキャンプ」

- 開催日：令和元年11月23日(土)～11月24日(日)
- 開催場所：サンビレッジ茜および国立夜須高原青少年自然の家
- 参加者：23名
- 事業のねらい

聴覚に障がいのある子どもたち(小中学生)が宿泊自然体験活動を通して、障がいのある子ども達同士、または大学生や青年の家の職員等と交流しながら、生活力やコミュニケーションを図る力、人間関係を形成する力等を育む。

1日目

活動1：レクリエーション

初めて出会う仲間と仲良くなるために、班で自己紹介をしたり全体でレクリエーションをしたりしました。



活動2：人工芝スキー体験

2つのグループに分かれて練習を行いました。初めは恐る恐る滑ったり転んだりしていた子ども、最後には上手に滑ることができていました。



活動3：紙コプター作り

牛乳パックとストローで紙コプターを作りました。完成したら、自分の紙コプターで島乗りチャレンジゲームを楽しみました。



2日目

活動4：館内フィールドビンゴ

雨により、計画していた外でのフィールドビンゴはできませんでしたが、館内でフィールドビンゴを行いました。班の仲間と協力して、地図を見ながら写真に写っているものを探し回りました。



活動5：野外調理

昼食の調理活動でホットドック作りを行いました。パンにはさむものを自分で決め、思い思いのホットドックを作りました。食べた後は、みんなで「だるまさんが転んだ」をして楽しみました。



【参加者の感想】

- 友達と仲良くなれて嬉しかったです。
- スキーは最初は慣れなかったけど、できるようになったので嬉しかったです。
- 紙コプターを飛ばすのが嬉しかったです。またしたいです。
- フィールドビンゴで道に迷ったけど友達と協力できて良かったです。
- ホットドックに色々な具材を入れたり、焼いているところを見たりしたので嬉しかったです。
- わくわくキャンプに参加してよかったです。
- 協力も助け合いもできました。またわくわくキャンプに行きたいです。

【全体を通して】

今回のキャンプでは、「自分のことは自分しよう！」「仲間と協力して助け合おう！」「自然や施設を大切にしよう！」の3つを目標に活動しました。

今回のキャンプの活動には、紙コプター作りやホットドック作りなどの「自分で頑張るもの」と、フィールドビンゴや部屋の準備・片付けなどの「仲間と協力して頑張るもの」がありました。子どもたちは自分でできることは自分で頑張り、一人ではできないことや協力が必要な場面では、声を掛け合いながら子どもたち自身でやり遂げていきました。

2日間を通して、子どもたちは「自分のことは自分でする」「仲間と協力して助け合う」ということをしっかりと頑張ることができていました。